

消化器内科

《概要》

2007年度の大阪市立大学消化器内科医局による医師一斉引き揚げ以降、当院では「地域の中核病院でありながら消化器内科が機能していない」という危機的状況が続いてきました。2010年1月18日に再建にむけて「消化器内科」が発足しましたが、パート医に多くを依存するという不安定な人員配置での運営が現在も続いており、入院加療を受け入れられる体制は未だつくれていません。

マンパワーの決定的な不足のなかで、外来・検査のフルオープンと、時間内なら緊急処置のできる体制をなんとか作り上げてはきましたが、時間外緊急対応や入院受け入れのためには複数の若い常勤医の恒常的な確保が緊急課題です。この地域の慢性的医師不足は、もはや一個人や一病院の努力だけでは到底解決しえないことを実感していますが、少しでも早く、消化器内科としてのまっとうな機能を取り戻せる日がくるよう祈っています。

《実績》 2011.4.1～2012.3.31

上部消化管内視鏡検査件数	2,288 件
下部消化管内視鏡検査件数	945 件
ERCP 件数	64 件
内視鏡治療件数	164 件
緊急内視鏡検査件数	158 件